



三者懇談 進路決定に向けて

来週から、三者懇談が始まります。今回の三者懇談では、前期通知表が配付されます。中学校生活も残り半分です。それぞれの進路に向けて、日々の努力を重ねてほしいと思います。

三者懇談期間中は、南館2Fの進路学習室を開放しています。各校のパンフレットや募集要項、上級学校に関するポスター等が掲示されていますので、ご自由にご利用ください。なお、パンフレット等は基本的に1部しかありませんので、閲覧後は、元の場所へ戻してください。

「新面接の答え方」の販売について

三者懇談に合わせ、面接についてのマナーや常識、面接の手順などが載っている「新面接の答え方」の希望者への販売を斡旋します。進路学習室前の廊下に冊子の見本が展示してあり、希望者向けに封筒が置かれています。400円となりますので、封筒に入れ、過不足がないように、担任まで提出下さい。期限は、10月24日(木)です。入試における面接については、公立・私立の推薦入試、公立・私立高校の特色入試(選抜)においては必ず実施となっています。一般受験においては、公立高校の一部(裏面参照)で実施となります。専修学校では推薦入試で、一般入試ともにほとんどの学校で面接を実施します。(愛知芸術専門学校は面接なし)愛知県内の私立高校は一般入試での面接の実施はありません。授業では、面接についてプリント学習をします。必ず「新面接の答え方」を購入する必要はありませんので、ご検討ください。

第3回進路希望調査を配付します

三者懇談内で、第3回進路希望調査を配付します。今回の進路希望調査は、私立高校・専修学校の受験校決定を見据えた調査です。三者懇談内で配付される前期通知表には、9教科の評定が記載されています。この評定が私立高校・専修学校受験校決定や、入試における合否判定の重要な資料となります。国立高校・私立高校・専修学校・私立通信制高校の受験校の最終決定は11月25日(月)~11月28日(木)に行う三者懇談ですが、今回の進路希望調査結果をもとに最終決定に向けての準備を進めますので、自分がどの学校を受験するのか、家庭でしっかりと話し合い決定してください。

今回の進路希望調査を実施する大きなねらいの一つに、「国立高校・私立高校・専修学校・私立通信制高校に関する推薦希望の意思表示」があります。6月に実施した進路説明会で説明した通り、推薦希望はその学校に対する強い進学希望があることを前提に進めていきます。仮に推薦希望が通らなかったり、推薦入試の結果不合格となったりしてしまうことまで考えて、担任としっかり相談した上で、受験に臨むようにしてください。各家庭で推薦希望をするかしないか、しっかりと話し合いを進めてください。

また、一部の高校で「特色入試」や「自己推薦入試」が実施されます。特色入試とは従来の推薦入試とは異なり、中学校長の推薦を必要としない、「自己推薦」による入試です。受験資格や入試の方法などは、各校の募集要項を確認してください。自己推薦による入試ではありますが、特色入試に関する希望も今回の進路希望調査で意思確認を行い、相談のうえで準備を進めていきますので、特色入試の受験を希望する場合は、該当箇所にも必ずご記入ください。

公立・私立・専修・その他のすべての入試において、一般入試を受験することが基本となります。一般受験校を決定し、第1志望校に対する進学希望の思いの強さや、各校の示す受験資格に自身の実績が合致するかをよく検討した上で、推薦希望の意思表示・特色入試の意思表示をするようにしてください。

第3回進路希望調査の提出期限は、10月24日(木)朝STまでです。